

掾久米朝臣広繩の館にして、
田辺史福麻呂に
饗する宴の歌四首

四〇五二番

ほととぎす 今鳴かずして 明日越えむ 山に鳴
くとも 駿あらめやも

四〇五三番

木の暗に なりぬるものを ほととぎす なにか
来鳴かぬ 君に逢へる時